

題 材 名	幼児との触れ合いや観察を通した遊び道具の製作（3）「幼児の生活と家族」		
内容・項目	<p>A 家族・家庭と子どもの成長</p> <p>(3) 幼児の生活と家族について、次の事項を指導する。</p> <p>(イ) 幼児の観察や遊び道具の製作などの活動を通して、幼児の遊びの意義について理解すること。</p> <p>(ウ) 幼児と触れ合うなどの活動を通して、幼児への関心を深め、かかわり方を工夫できること。</p>		
指導時間	8時間（10時間）		
題材のねらい (題材の特徴)	<p>幼児期は心身の発達がめざましく、将来の人格形成に多大な影響を及ぼす時期である。また、この時期における家族や社会の環境が人間の成長・発達に大きな影響を与えたとはいえる。このように考えると幼児期について学ぶことは、どのように自己形成がなされてきたかを知り、自己理解ひいては人間理解を深めることになる。特に中学校2年生という時期は、思春期に入り家族との関係がうっとうしくなる時期でもあり、この時期に保育を学ぶということは、自分の成長を振り返り、家族の大切さを実感する上からも意義がある。</p> <p>幼児との触れ合いが少ない生徒が多くいる状況で、知識のみで幼児のことを意識した遊び道具を製作することは非常に難しい。また、年齢や実際の対象が明確でない状態で製作に取りかかっても、遊び道具に対する問題意識が低く、実践的といえず、製作が生徒自身の興味ある遊びとなってしまう、製作意欲が湧きにくい。そこで、事前に保育実習（幼稚園や保育園での触れ合い）を通じ、幼児と直接触れ合う活動を体験する。体験活動をふり返り、生徒自身が幼児とのかかわりの中で発見した、接し方・話し方・遊びの中から、幼児が興味をもてそうな遊び道具の製作を実施する。製作を通じ、幼児の成長や特徴を捉えた遊び道具を考えることで、幼児の発達に注目し理解を深められると考えられる。また、幼児の手指の動き身体の発達に関する学習への積極的な理解に結びつくと考えられる。</p> <p>(対象学年を2学年と設定した理由は、1学年で家族のことを学習し、精神的に成長した年齢において、幼児とかかわることが望ましいと考えたためである。また、3年生では授業時数が1・2年に比べ、少ないという現状から、2～3回保育実習を実施することが難しいと判断したためである。)</p>		
学習の流れ (展開の工夫)	時 間	指導項目	主な指導内容

1 時間	・保育実習事前指導	・幼児とのかかわりや事前に担当クラス分け，準備物（ネーム・自己紹介の練習など），あいさつやマナーについての指導を行う。																																			
2 時間	・保育実習	・実際に，幼児とのかかわりを通じ，接し方・話し方・遊びの方法を実践する。幼児とのかかわりに不慣れな生徒は，観察を行い，学習したことと比較する。 【かかわり】写真①・②・③・④																																			
1 時間	・保育実習ふり返り	・体験活動を通じ，観察したことや感じたことを自分の言葉でまとめレポートとして提出する。また，活動を通して新たに発見したことなどをまとめ，遊び道具製作への意欲とする。																																			
3 時間	・遊び道具製作	・幼児の観察で得た知識や行動を基に，オリジナルの遊び道具を製作する。評価の観点に沿うように，プレゼンを考えワークシートにまとめる。【意思決定能力】																																			
1 時間	・発表	・製作した作品の発表会を行う。																																			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">         製作した「幼児のおもちゃ」の発表をして，クラスのNo. 1おもちゃを決めよう！！       </div> <p>製作時にプレゼンまで考えておくことを伝え，以下のような評価項目を事前に設け，生徒に各グループの作品を評価してもらおう。また，カラーマグネットを1つずつ配布し，最終評価で高得点だった作品に投票を行った。</p> <p>【意思決定能力】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">評価項目</th> <th style="width: 10%;">1</th> <th style="width: 10%;">2</th> <th style="width: 10%;">3</th> <th style="width: 10%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①安全なものであるか</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②丈夫にできているか</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③対象児の発達段階にあっているか</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④色々な工夫ができるだろうか</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤幼児が扱いやすい大きさか</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>⑥プレゼンは，わかりやすかったか</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・生徒は，評価の観点を事前に知っているため，評価項目に沿うような，作品づくりを心がけることができる。</p> <p>【学ぶエネルギー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションは，8グループあり，発表3分（作品の特徴や工夫した点の他，実演を含む）・評価1分移動準備1分で行う。（40分間）写真⑤・⑥</li> <li>・最終投票3分（黒板にカラーマグネットを貼る）</li> <li>・教師の評価，まとめ（2分）</li> <li>・自己評価（3分）</li> </ul> <p>・発表時，作品がよく見えるようにビデオなどで手もとを撮影し，テレビやプロジェクターに映し出すと，生徒が評価しやすい。</p>			評価項目	1	2	3		①安全なものであるか	1	2	3		②丈夫にできているか	1	2	3		③対象児の発達段階にあっているか	1	2	3		④色々な工夫ができるだろうか	1	2	3		⑤幼児が扱いやすい大きさか	1	2	3	合計	⑥プレゼンは，わかりやすかったか	1	2	3	
評価項目	1	2	3																																		
①安全なものであるか	1	2	3																																		
②丈夫にできているか	1	2	3																																		
③対象児の発達段階にあっているか	1	2	3																																		
④色々な工夫ができるだろうか	1	2	3																																		
⑤幼児が扱いやすい大きさか	1	2	3	合計																																	
⑥プレゼンは，わかりやすかったか	1	2	3																																		
(2 時間)	・保育実習 (作品をもって幼児との活動を行う)	・完成した作品を，幼稚園に持って行き，前回活動した幼児と共に，実際に遊んでみる。																																			

題材の紹介 と作品例	
準備・材料等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ネーム（用紙・ラミネート紙・すずらんテープ）</li><li>・プロジェクター・パソコン・スクリーン・ビデオカメラ</li><li>・カラーマグネット40個</li></ul>
〔本題材を考案するに当たって参考にしたもの〕 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編	